

## 北薩感染症情報

2023年第43週(10月23日～10月29日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール [kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp)

## 川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル		注意報レベル 基準値	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始 基準値	終息 基準値		前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前週 からの 増減	警報 注意報	前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前週 からの 増減	警報 注意報
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	126	118	16.86	↓	○	210	293	58.60	↗	◎
	COVID-19	-	-	-	22	8	1.14	↓	-	9	4	0.80	↓	-
小児科定点	RS	-	-	-	-	1	0.25	↗	-	-	-	-	→	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	1	1	0.25	-	-	6	9	3.00	↗	-
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	2	4	1.00	↗	-	2	3	1.00	↗	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	13	19	4.75	↗	-	-	2	0.67	↗	-
	水痘	2.0	1.0	1.0	1	-	-	↓	-	-	-	-	→	-
	手足口病	5.0	2.0	-	21	12	3.00	↓	-	8	10	3.33	↗	-
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	突発性発疹	-	-	-	-	3	0.75	↗	-	-	-	-	→	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	1	-	-	↓	-	/	/	/	/	/
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	/	→	-	
指定医療機関からの COVID-19入院報告	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	/	→	-	
報告数合計	-	-	-	187	166	/	↓	/	235	321	/	↗	/	

## &lt;注意報・警報レベル&gt;

- ・川薩保健所管内 インフルエンザ(注意報レベル), 手足口病(警報レベル)
- ・出水保健所管内 インフルエンザ(警報レベル), 咽頭結膜熱(警報レベル)

## &lt;全数報告&gt;

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 腸管出血性大腸菌感染症1例

## &lt;インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等&gt;

- ・川薩保健所管内 学級閉鎖: 薩摩川内市1件
- ・出水保健所管内 学年閉鎖: 阿久根市1件

COVID-19の入院患者の発生動向や重症化の傾向を経時的に把握することを目的に、指定医療機関からのCOVID-19入院報告が始まりました。

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)										
				34W	35W	36W	37W	38W	39W	40W	41W	42W	43W	
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	2.14	1.57	0.57	1.29	4.14	6.43	3.86	3.86	18.00	16.86	
	COVID-19	—	—	19.00	16.43	15.86	17.57	9.86	11.43	6.86	4.29	3.14	1.14	
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.75	1.00	—	—	—	—	0.75	—	—	0.25	
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	—	0.25	—	—	0.25	—	—	0.25	0.25	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.00	1.50	1.75	1.00	0.25	0.25	0.75	0.50	0.50	1.00	
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	3.75	3.50	2.25	0.50	2.50	2.00	0.25	2.50	3.25	4.75	
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.25	—	0.25	0.25	—	—	—	—	0.25	—	
	手足口病	5.00/2.00	—	1.00	0.25	1.00	2.25	3.00	2.50	2.00	3.50	5.25	3.00	
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	突発性発疹	—	—	0.50	0.50	0.75	1.25	0.50	0.50	0.25	0.25	—	0.75	
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	0.25	0.25	0.75	1.00	—	—	0.25	—	—	—	
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	0.25	—	—	—	—	—	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	—	3.00	3.00	3.00	—	2.00	1.00	—	1.00	—	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)										
				34W	35W	36W	37W	38W	39W	40W	41W	42W	43W	
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.20	3.00	2.00	2.20	1.40	3.80	2.00	7.00	42.00	58.60	
	COVID-19	—	—	11.20	13.20	20.40	16.60	7.40	12.60	6.80	3.80	1.80	0.80	
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	—	0.33	—	0.33	—	—	—	—	—	—	
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	0.33	0.33	1.67	1.33	0.33	0.33	2.33	1.67	2.00	3.00	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	—	0.33	—	1.00	0.67	0.67	—	2.33	0.67	1.00	
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	0.33	0.67	—	1.00	—	0.33	—	1.00	—	0.67	
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	0.67	—	—	—	—	
	手足口病	5.00/2.00	—	1.00	1.33	1.00	0.67	1.67	1.00	0.67	3.33	2.67	3.33	
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	突発性発疹	—	—	0.33	1.00	1.00	0.33	—	—	—	—	0.33	—	
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	6.67	5.33	3.00	0.67	0.67	1.00	1.33	—	—	—	
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.33	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

★第 43 週に関しても両地域においてインフルエンザの報告数が多く、出水においては咽頭結膜熱も増加しています。学級閉鎖は薩摩川内市で 1 件、学年閉鎖は阿久根市で 1 件でした。朝晩の気温が下がり、水に触れたくない季節になりましたが、寒さに負けず手洗いをこまめにしましょう。

★新型コロナウイルスに関する参考資料

新型コロナウイルス感染症 「診療の手引き」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000936655.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「病原体検査の指針」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000914399.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「罹患後症状のマネジメント」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000952747.pdf>

# お早めの インフルエンザワクチン接種を！



## インフルエンザワクチンについて

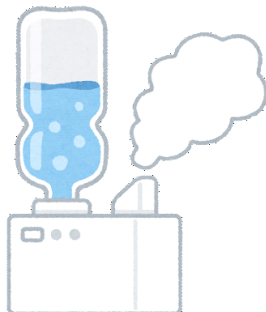
国内のインフルエンザについては、今年の2月以降の定点あたりの報告数が直近5年と比較して増加傾向にあります。そのため、例年よりも流行が早まる可能性があります。インフルエンザワクチンを接種することで重症化を防ぐことができます。65歳以上の方や慢性高度心・腎・呼吸器機能不全等をお持ちの方は定期接種対象ですので、特に早めの接種をおすすめいたします。また、対象者以外の方も希望される場合は接種可能です。接種日の体調などにより副反応が生じる場合もありますので、その場合は医療機関にご相談ください。

※ワクチン接種することにより、発病を必ず防ぐ訳ではありません。

## インフルエンザにかからないためには？



① 外出後の手洗い  
うがいの徹底



② 乾燥を防ぐ



③ バランスのとれた  
栄養摂取



④ 人混みを避ける



公費補助を受けることができる場合があります。  
公費を受ける方法はお住まいの市町によって異なります。  
また、市外(町外)の医療機関での接種を希望の場合も  
対応が異なりますので詳しくは市役所・役場のホーム  
ページをご覧ください。

対象外の方は自費で接種可能です。  
希望される方は医療機関や  
かかりつけ医にご相談ください。



手足口病が増加傾向です！



## 手足口病とは？

通常は春から夏にかけて流行し、コクサッキーウイルスA16, A10, A6, エンテロウイルス71 等のウイルスによる感染症です。まれに無菌性髄膜炎や脳炎を合併し、痙攣や意識障害が生じることもあります。症状が出た最初の週は感染力が最も強いため、注意が必要です。感染経路(感染の仕方)は飛沫感染, 接触感染, 経口感染です。身体にウイルスが侵入してから(潜伏期)3~6日で発症します。ワクチンなどはありませんが, 3~7日で自然治癒することがほとんどです。原因ウイルスが複数あるため, 何度でもり患する可能性がありますので, 1度かかっても油断せず感染対策に努めましょう。

## どんな症状が出るの...？

- ・発熱
- ・咽頭痛
- ・水疱(手・足・口腔内・おしりなど)
- ・唾液の増加
- ・爪が剥がれる(コクサッキーウイルスA6が原因の場合)
- ・頭痛, 吐き気(無菌性髄膜炎合併時)
- ・痙攣, 意識障害(脳症合併時)



回復してからもウイルスは排出されているので、注意しましょう。  
・飛沫, 鼻汁: 回復後1~2週間  
・便: 回復後数週間~数ヶ月

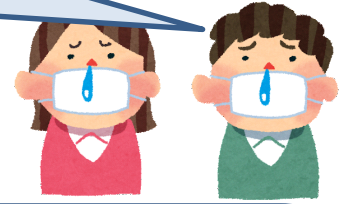


## ならないようにするには？

- ・流水と石けんによる手洗い (特にトイレやおむつ交換後)
- ・うがい
- ・咳エチケットの励行
- ・タオルや食器の共有を避ける



# インフルエンザの警報が 出ています!!!



## インフルエンザとは...?

インフルエンザウイルスに感染することによって起こる感染症です。まれに小児では急性脳症を、高齢の方や免疫が低下している方では肺炎を起こし、重症化します。

季節性インフルエンザはインフルエンザウイルスが毎年少しずつ変化することで流行するインフルエンザです。一方、新型インフルエンザとは、その変化が大きく、ほとんどの国民が免疫を獲得していないため、全国的に、急速に、まん延することにより起こります。新型インフルエンザはいつ、どこで発生するか予測することは困難ですので、日頃より、感染症対策をしましょう。

症状 ・38℃以上の発熱・頭痛・関節痛・筋肉痛・のどの痛み・鼻汁・咳  
・急性脳症(お子様)・肺炎(高齢の方, 免疫力の低い方)

## 感染の仕方は?



咳



くしゃみ



会話



握手



ドアノブやスイッチ

- ① **飛沫感染**... 飛沫とともに放出されたウイルスが、鼻やのどの粘膜に付着したり吸い込まれたりして感染する。
- ② **接触感染**... くしゃみを手で押さえた後や鼻水を手でぬぐった後に、触れた場所にウイルスが付着し、その付着したウイルスに触れた手で鼻や口に触れることにより感染する。



## インフルエンザ予防!



### ・飛沫感染対策としての「咳エチケット」

\*「咳エチケット」

- ① 普段から皆が咳やくしゃみを他の人に向けて発しないこと
- ② 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること
- ③ 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと

### ・外出後の手洗い等

アルコール製剤による手指衛生も効果◎

### ・適度な湿度の保持

室内は加湿器などを使って適切な湿度(50~60%)を保つ◎

### ・十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

### ・人混みや繁華街への外出を控える



## インフルエンザにかかったら...

- ・具合が悪い場合は早めの受診を。
- ・安静にして、休養を。  
特に、睡眠を十分にとることが大切。
- ・十分な水分補給。  
お茶でもスープでも飲みたいものでOK。
- ・咳やくしゃみ等の症状のある場合は、感染拡大防止で不織布製マスクを着用
- ・人混みや繁華街への外出を控える。  
無理をして学校や職場等に行かない。



# 感染経路について学びましょう



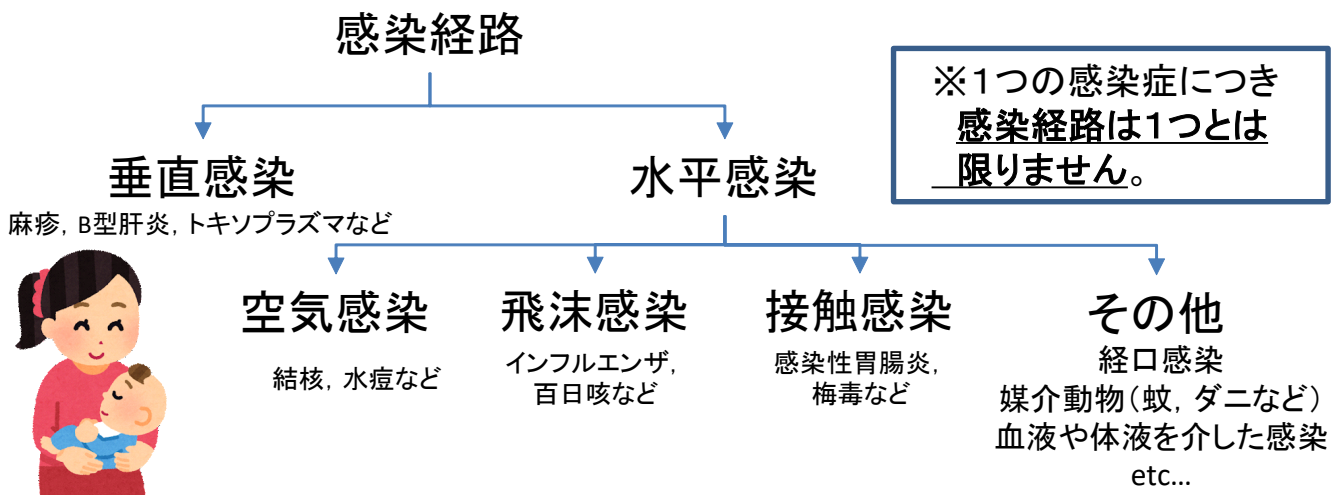
## 感染経路とは...？

感染症とは病原体（ウイルスや細菌などの病気の原因となるもの）が体内に侵入し、症状が出る病気をさします。病原体の侵入の仕方のことを感染経路といい、“垂直感染”と“水平感染”に分けられます。

垂直感染は母子感染ともいわれ、妊娠中や出産時に病原体が体内に侵入してしまう感染のことです。

水平感染は感染源から周囲に広がるものでヒトからヒト、モノからヒトに感染します。この感染経路はさらに“空気感染（飛沫核感染）”“飛沫感染”“接触感染”などに分けられます。

感染経路によって感染症対策の方法が異なりますので、感染経路を把握しておくことが効果的な予防につながります。



## 感染症対策・予防法

- 垂直感染...母：予防接種，定期健診
- 空気感染...換気，個室管理，N95マスク着用
- 飛沫感染...咳エチケット
- 接触感染...石けんでの手洗い（特にトイレ後・食事前），アルコールによる手指消毒，物の共有を避ける，共有物のこまめな消毒（スイッチ，ドアノブ等）



※感染症ごとに効果的な対処法がありますので、厚生労働省ホームページや国立感染症研究所ホームページをご覧ください。